

# 平成26年度 雪処理の担い手の確保・育成のための 克雪体制推進調査

## 実施の手引き ver1

### 《目次》

1. 手引きの趣旨 .....	- 1 -
2. 用語の解説 .....	- 1 -
3. 本年度採択された対象地域・取組主体等 .....	- 2 -
4. 取組主体と調査機関の関係 .....	- 3 -
4.1. 契約関係・精算手続き .....	- 3 -
4.2. 役割分担 .....	- 3 -
5. 取組主体の役割 .....	- 4 -
6. 調査費の範囲 .....	- 5 -
7. スケジュール .....	- 6 -
8. 連絡窓口 .....	- 7 -
9. 懇談会委員 .....	- 7 -

平成26年8月

(株) 日本能率協会総合研究所

## 1. 手引きの趣旨

- ・平成 26 年度雪処理の担い手の確保・育成のための克雪体制支援調査業務（以下「H26 年度克雪体制支援調査」と言う）の取組主体に対して、調査を進める上での留意点等を解説した資料となります。

## 2. 用語の解説

**対象地域** : H26 年度克雪体制支援調査に採択された地域

**取組主体** : 上記の採択地域の取組を担う主体

**調査機関** : (株) 日本能率協会総合研究所

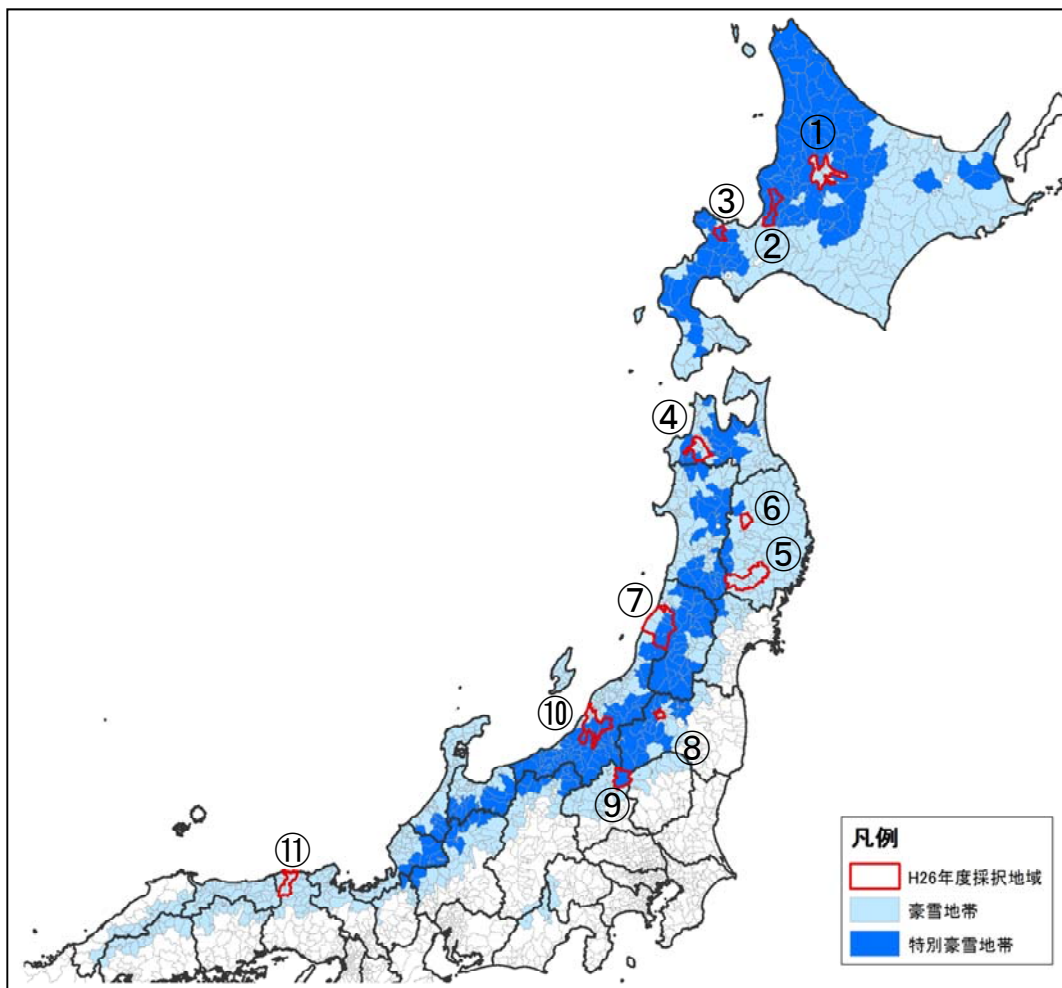
**関係主体** : 取組主体、推薦自治体、国土交通省、懇談会委員、調査機関

### 3. 本年度採択された対象地域・取組主体等

自治体概要				取組概要					
NO	道府県名	市町村名	地域指定状況	申請者名(団体名)	略称	取組名	取組区分		
							A	B	C
①	北海道	旭川市	豪雪	西神楽エコ農村共生対流推進協議会	①西神楽「通年交流」	死ぬまで元気で！地域で暮らす！（冬も楽しいシャングリラ）		●	
②	北海道	当別町	特豪	一般社団法人北海道開発技術センター	②当別「移住促進」	除雪ボランティアを「冬の暮らし体験」として利用した移住促進ツアープログラムの実践的開発		●	
③	北海道	仁木町	特豪	銀山地域づくり研究会	③「銀山・一斉除雪」	銀山地域づくり研究会による地域除雪活動	●		
④	青森県	弘前市	一部特豪、豪雪	社会福祉法人弘前市社会福祉協議会	④弘前「ボラ育成」	弘前大学除雪ボランティア「雪かたづけ隊」育成に向けた「雪かき道場」の実施			●
⑤	岩手県	奥州市	豪雪	社会福祉法人奥州市社会福祉協議会	⑤奥州「見守り」	えさしスノーバスターズ	●		
⑥	岩手県	滝沢市	豪雪	滝沢市上の山自治会	⑥滝沢「玄関除雪」	自治会住民総参加による上の山地区地域除排雪「上の山まごころ除雪隊」	●		
⑦	山形県	鶴岡市	一部特豪、豪雪	鶴岡市三瀬地区自治会	⑦三瀬「組織強化」	地域除雪ボランティアチーム「さんぜスノースイーパー」の運営	●		
⑧	福島県	会津坂下町	豪雪	特定非営利活動法人市民活動支援組織NIVO	⑧会津坂下「通学路」	スノーバトロール！地域の方で子ども達の道を拓け	●		
⑨	群馬県	片品村	特豪	社会福祉法人片品村社会福祉協議会	⑨片品「組織拡大」	片品スノーバスターズ組織強化事業	●		
⑩	新潟県	長岡市	一部特豪、豪雪	特定非営利活動法人中越防災フロンティア	⑩中越「雪かき道場」	広域除雪ボランティアの安全性向上とコーディネータ養成			●
⑪	兵庫県	香美町	豪雪	社会福祉法人香美町社会福祉協議会	⑪香美「非豪雪交流」	広がりある除雪ボランティア支援体制づくり		●	

※取組区分

- A: ボランティア組織づくり
- B: 交流の仕組みづくり
- C: 担い手のスキルアップ



## 4. 取組主体と調査機関の関係

### 4.1. 契約関係・精算手続き

#### (契約関係)

取組主体側の必用に応じて調査機関と契約書等を取り交わす

#### (精算手続き)

調査費の支払いは、取組終了後に提出する精算報告書において金額が確定した後に、調査機関から取組主体に支払う

支払時期：平成 27 年 3 月～4 月頃

支払金額：採択時に国土交通省から提示された金額を上限として、精算報告書において確定した金額

### 4.2. 役割分担

	取組主体	調査機関
基本 スタンス	○H26 年度克雪体制支援調査の 実践	○左記のサポート
役割	1. 業務計画書の作成 2. 調査機関への各種報告 3. スタートアップ交流会、活動報 告会への参加 4. 報告書の作成 5. 精算報告書の作成	1. 各種書類の様式提供 2. 取組主体に対するアドバイス ・取組内容について ・調査方法について ・事務手続きについて 等 3. 関係主体間の情報共有 4. スタートアップ交流会、活動報 告会の企画・運営

## 5. 取組主体の役割

役割	実施方法
1. 業務計画書の作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「別添様式 1. 業務計画書」に基づいて作成する。                ※申請書からの転記を基本として、調査経費、スケジュール等の変更部分や連絡先は新たに追加</li> </ul>
2. 調査機関への各種報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次の取組の実施結果を報告する。  <b>【報告事項】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>①委員会・検討会等の会議</li> <li>②有識者等を招いた講演会・シンポジウム等</li> <li>③アンケート・ヒアリング等の各種調査</li> <li>④地域除排雪活動</li> <li>⑤その他</li> </ul> </li> <li>・①、②は「別添様式 2. 会議録」、「別添様式 3. 講演会・シンポジウム等の開催記録」を用いて報告する。                ※写真や会議資料、新聞記事がある場合は添付</li> <li>・③の報告様式は任意とする。</li> <li>・④の報告様式も任意とするが、次の情報が報告されることが望ましい。  <b>【報告事項】</b>                名称、日時、場所、参加者の属性・人数、除雪戸数など                ※写真や新聞記事がある場合は添付</li> </ul>
3. スタートアップ交流会、活動報告会への参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の開始段階と終了段階に実施するスタートアップ交流会と活動報告会に参加する。  <b>【スタートアップ交流会】</b>                時期：平成 26 年 9 月 1 日（月）                時間：半日程度                場所：東京  <b>【活動報告会】</b>                時期：平成 27 年 3 月頃                時間：半日程度                場所：東京                ※両会議の交通費等は調査機関が支給                （各取組主体 1 名分）</li> </ul>
4. 報告書の作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「別添様式 4. 報告書」に基づいて作成する。                ※50 ページ以内、ファイルサイズ 1MB 以内を目安</li> </ul>
5. 精算報告書の作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「別添様式 5. 精算報告書」に基づいて作成する。</li> </ul>

## 6. 調査費の範囲

- ・調査費の範囲は次を基本とします。
- ・判断に迷う経費が発生しましたら調査機関までお問い合わせ下さい。

費目	対象経費（例）	対象とならない経費（例）
会議費	委員会等の茶菓、弁当 会議室の使用料	懇親会等の飲食費等
印刷費	会議資料のコピー代、紙代 アンケート票等の印刷費	
消耗品費	文房具、OA サプライ用品	
器具備品費	スコップ、スノーダンプ、かんじき、防寒具	除雪機械、融雪機、パソコン、携帯電話
レンタル費	除雪機械や排雪用ダンプ、大型バス等のレンタル費	
通信運搬費	切手、葉書、郵送料、宅配便	
旅費交通費	交通費、タクシー、レンタカー、ガソリン代、高速道路代、駐車場代	
謝金	講演会講師への謝金、委員会委員への謝金、除雪指導者への謝金	除雪作業に対する報酬
外注費	アンケート調査・分析の外注費、報告書作成等の外注費	
その他		用地等の取得経費 施設整備費 先進事例等の視察費 取組主体等の通常の運営経費 営利のみを目的とした活動の経費

## 7. スケジュール

- ・この業務は平成27年3月19日で終了します。
- ・3月上旬に活動報告会を開催しますが、その後1週間程度の間には報告書、精算報告書の提出をお願いします。

	平成26年						平成27年		
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
採択	★								
業務計画書の作成		◆	◆						
スタートアップ交流会			★						
取組の実践		◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆
調査機関への各種報告			随時						
活動報告会									★
報告書の提出									◆
精算報告書の提出									◆

## 8. 連絡窓口

区分	組織名・担当者名・連絡先等			
調査 機関	(株)日本能率協会総合研究所(略称:JMAR) 〒105-0011 東京都港区芝公園3-1-22			
	社会政策研 究グループ	主幹 研究員	しおみいさお 塩見一三男	電話:03-3578-7526 FAX:03-3432-1837 Mail:isao_shiomi@jmar.co.jp
		主任 研究員	さわえあきこ 澤江暁子	電話:03-3578-7550 FAX:03-3432-1837 Mail:sawae_0197@jmar.co.jp
		研究員	かとうたいち 加藤太一	電話:03-3578-7512 FAX:03-3432-1837 Mail:taichi_kato@jmar.co.jp
発注 機関	国土交通省 国土政策局 〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-2			
	地方振興課	課長補佐	ふじわらゆたか 藤原裕	電話:03-5253-8404 FAX:03-5253-1588 Mail:fujiwara-y82ad@mlit.go.jp
		克雪体制 推進係長	いとうけい 伊東慶	電話:03-5253-8404 FAX:03-5253-1588 Mail:itou-k22j@mlit.go.jp

## 9. 懇談会委員

- ・本調査では次の有識者から構成される懇談会を設置し、対象地域の取組に対してアドバイスなどをいただきます。

氏名	所属・役職
沼野 夏生	東北工業大学 工学部 建築学科 教授
上村 靖司	長岡技術科学大学 工学部 機械系/教育開発系 教授
諸橋 和行	公益社団法人 中越防災安全推進機構地域防災力センター センター長
筒井 一伸	鳥取大学 地域学部 地域政策学科 准教授



平成26年●月●日

**雪処理の担い手の確保・育成のための克雪体制支援調査 業務計画書**

取組名	
実施主体名	

**1. 対象地域**

**1.1. 地域名**

--

**1.2. 地域の状況**

--

**2. 取組の概要**

**2.1. 取組の名称及び趣旨**

名称： 趣旨：
------------

**2.2. 関連する取組の実績、提案に係る取組との関係等**

--

**2.3. 取組の具体的な内容・必要性・先導性**

--

#### 2.4. 取組の実効性・持続可能性

--

### 3. 実施体制

#### 3.1. 参加協力体制

--

#### 3.2. 他の事業等により財政的支援を受けて実施する取組との区分、相乗効果等

--

### 4. その他のアピール・ポイント

--

### 5. 取組計画

作業／活動（日程）	作業／活動の内容（回数、参加者、参加人数、場所等）

## 6. 収支計画

<収入の部>

--

<支出の部>

--

## 7. 連絡先

区分	組織名・部署名	担当者名	連絡先
実施主体			電話： FAX： Mail：
自治体			電話： FAX： Mail：
その他			電話： FAX： Mail：
			電話： FAX： Mail：

## 雪処理の担い手の確保・育成のための克雪体制支援調査 会議録

取組名	
実施主体名	
会議名称	
日時	
開催場所	
参加者	
議事	
配付資料	
会議結果	
その他	

※会議の写真

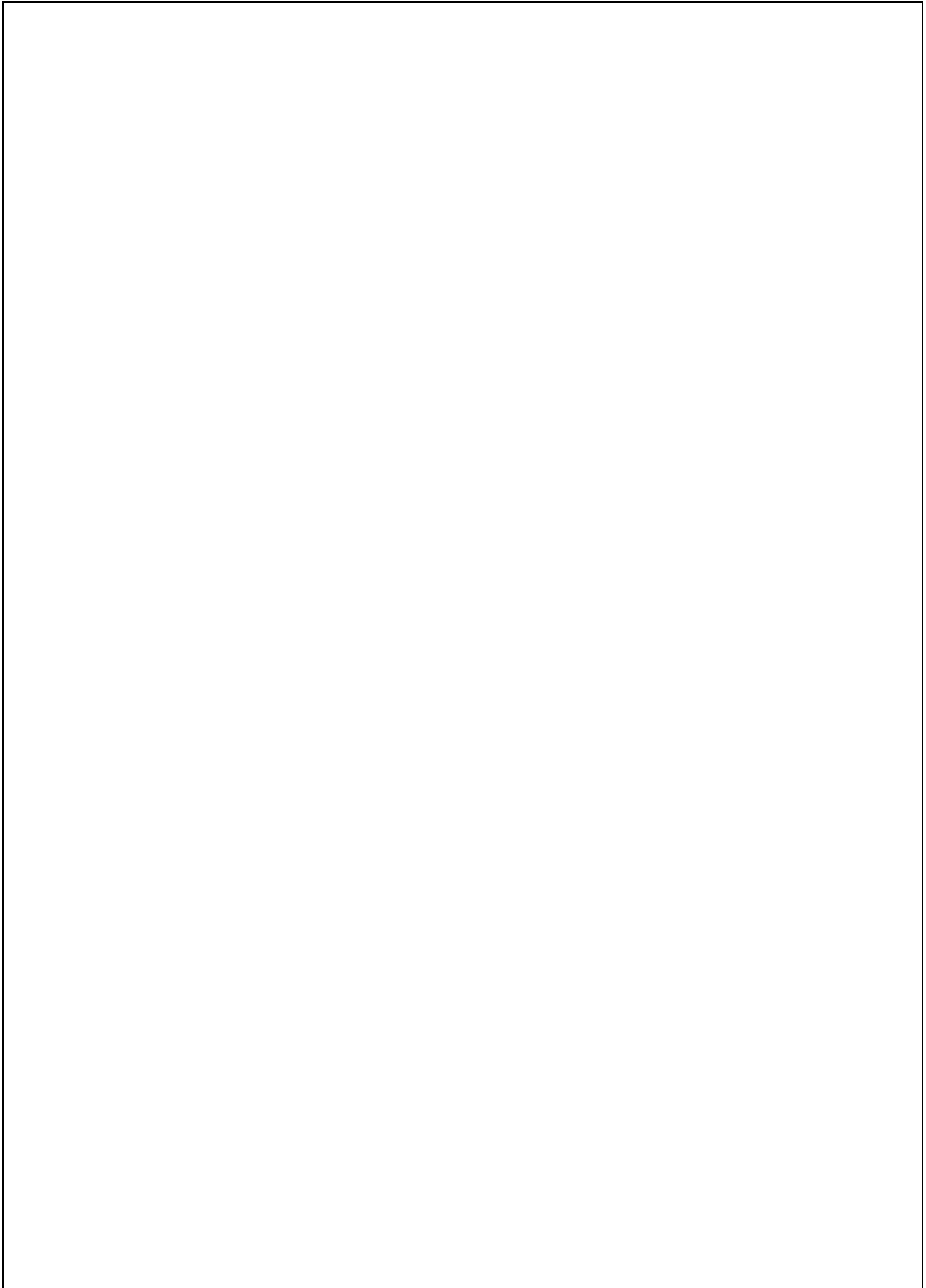


雪処理の担い手の確保・育成のための克雪体制支援調査  
講演会・シンポジウムの開催記録

取組名	
実施主体名	

名称	
日時	
開催場所	
参加者	
プログラム	
配付資料	
会議結果	
その他	

※講演会等の写真



## 雪処理の担い手の確保・育成のための克雪体制支援調査

## 報告書

取組名	
実施主体名	

**<作成に当たって>**

- 「1年間の記録」と「活動から得られた知見とりまとめ」の2点を中心に整理してください。
- 既存資料が使える部分は極力活用いただき、報告書の作成負荷を減らしていただいで結構です。
- 「1.対象地域」から「6.マスコミ報道」までは、既に作成された業務計画書や会議録、地域除排雪活動記録などを活用してください。
- 写真、新聞記事、会議資料等が膨大で、報告書に貼り付けるとファイルサイズが大きくなる場合は、次の対応をお願いします。
  - ・写真はサイズを縮小して報告書に貼り付ける。縮小前の写真は別途電子ファイルとして提出する。
  - ・資料名や新聞記事名だけを報告書に記載する。原本は別途電子ファイルとして提出する。
- 「7.活動成果」、「8.今度の課題」は活動を振り返っていただき、整理してください。
- 「9.電子ファイル提供資料リスト」は、別途電子ファイルとして提出された資料名等を列挙してください。
- 50ページ以内、ファイルサイズ1MB以内を目安としてください。



## 1. 対象地域

### 1.1. 地域名

### 1.2. 地域の状況

## 2. 取組の概要

### 2.1. 取組の名称及び趣旨

名称：
趣旨：

### 2.2. 関連する取組の実績、提案に係る取組との関係等

### 2.3. 取組の具体的な内容・必要性・先導性

### 2.4. 取組の実効性・持続可能性

### 3. 実施体制

#### 3.1. 参加協力体制

--

#### 3.2. 他の事業等により財政的支援を受けて実施する取組との区分、相乗効果等

--

### 4. その他のアピール・ポイント

--

## 5. 取組結果

### 5.1 活動内容一覧

#### 【打合せ・委員会等の会議】

日時	会名称	開催場所	議事	参加者数
(例) H25.10.25(金) 13:00~15:00	第1回検討委員会	〇〇社協会 議室	・事業趣旨説明 ・先進事例紹介 ・本年度の取組について	15名

#### 【講演会・シンポジウム等の開催】

日時	名称	開催場所	議事	参加者数
(例) H25.12.12(木) 13:30~16:00	克雪学習会	〇〇公民館 4階ホール	・講演「共助・公助による地域除雪の取組」 ・話し合い「地域除雪の課題と取組みのアイデア」	50名程度

#### 【地域除雪活動の記録】

日時	活動名称	活動概要
(例) H24.12.12(水) 13:30~16:00	学生ボランティア	場所:〇〇地区 内容:バス停・ゴミ置き場・一人暮らしの高齢者宅の雪かき 参加人数:15名

#### 【アンケート・ヒアリング等の調査結果】

調査名称	調査概要
(例) 住民ヒアリング調査	調査対象:〇〇地区住民 調査項目:自宅屋根・敷地の雪処理実態、課題、施策要望 等 調査方法:個別訪問ヒアリング 調査時期:H25.12

5.2 打合せ・委員会等の会議記録

5.3 講演会・シンポジウム等の開催記録

5.4 地域除雪活動の記録

5.5 アンケート・ヒアリング等の調査結果

5.5 その他

★作成に当たって  
前ページの取組一覧の個々の活動概要を整理してください。

6. マスコミ報道

7. 活動成果

--

8. 今後の課題

--

9. 電子ファイル提供資料リスト

## 雪処理の担い手の確保・育成のための克雪体制支援調査 精算報告書

## 1.総括表

伝票 NO	発生月日	科目										摘要
		会議費	印刷費	消耗品費	器具備品費	レンタル費	通信運搬費	旅費交通費	謝金	外注費	その他	
1												
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
26												
27												
28												
29												
30												
31												
32												
33												
34												
35												
36												
37												
38												
39												
40												

## 2.個表

伝票NO	発生日	費目	金額(円)	摘要

領収書を  
添付してく  
ださい。